

おがかい

杉並区議会だより

NO.182

平成18年1月1日発行

発行 / 杉並区議会 〒166-8570 杉並区阿佐谷南1-15-1 3312-2111 FAX 5307-0695 編集 / 杉並区議会事務局

お知らせ

区議会を傍聴しましょう

本会議や委員会は、定員の範囲内でどなたでも傍聴できます。

平成18年第1回定例会は、2月20日(月)開会予定です。

(問 2月14日以降に区議会事務局へ)

http://www.gikai.city.suginami.tokyo.jp/ 携帯サイト http://www.gikai.city.suginami.tokyo.jp/mobile/

迎春

2006年

本年もよろしく
お願い申し上げます

杉並区議会議員一同



新年のごあいさつ



杉並区議会議員
富本 卓

区民の皆様には、お健やかに新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。年頭にあたり、杉並区議会を代表いたしまして、ご挨拶申し上げます。

昨年9月の集中豪雨では多くの区民の方々が被害に遭われました。改めて心からお見舞い申し上げます。皆様からは区の初動体制等について多くのご意見を承りました。その後の区議会でも区民の皆様の声に心えるべく、今後の水防対策について積極的な議論のもと、多くの建設的な提案、提言がなされました。区議会といたしましても、区民要望の最も高い「安心・安全なまちづくり」の構築のため、今後も努めて参る所存でございます。本年6月には待望の「新・杉並公会堂」がオープンい

たします。新たな杉並文化の発信拠点として、多くの人々に親しまれ、愛される施設として利用され、区民が気軽に文化や芸術に接する機会が増えることを大いに期待するものです。また、高円寺会館の改築も、杉並芸術会館」として平成20年のオープンをめざして動き始めます。このように本年はいわば杉並の新しい文化の創造の萌芽の年となるといえるでしょう。

昨今の急激な社会構造やライフスタイルの変化に対応する新しい国のあり方が、今、求められています。「地方分権社会」の早期実現もその大きな柱の一つです。杉並区も真の自立した地方政府の確立をめざしてあります。そのような中、区議会も一層区民にとって身近で開かれたものとなり、それとともに政策チェック機能と政策立案機能の向上、充実が必要です。この時代の要請に応えるべく、現在、区議会内部に「議会改革に関する検討調査部会」を発足させ、全議員アンケート結果に基づく42分野・359項目の検討を進めている最中でございます。的確な時代認識の中で、真に区民の皆様からの負託に応えられる議会への脱皮をめざして参りたいと考えております。皆様の特段のご協力をお願い申し上げます、新年のご挨拶とさせていただきます。

平成17年第4回定例会

「杉並区立杉並芸術会館条例」、「水防情報システム新設・改修工事の請負契約の締結について」などを可決

第4回定例会は、11月21日から12月5日までの15日間の会期で開催されました。

初めに、特別委員会の活動報告が行われました。その後、一般質問が行われ、25日までの4日間で17名の議員が区政一般について質問しました。

25日には、議案が上程され、直ちに採決が行われて承認された専決処分報告1件を除き、関連する常任委員会に付託しました。

28日から12月2日にかけては、常任委員会と特別委員会を開き、議案審査などを行いました。

最終日の5日は、各委員会から議案の審査報告があり、採決の結果、全ての議案を可決して定例会を閉会しました。

主な議案の概要

条例制定

長期継続契約を締結することができる契約を定める条例
安定的な物品の借入れ及び役割の提供を確保することにより、区民サービスの向上を図るため制定する。

区立杉並芸術会館条例
高円寺会館を改築し、舞台芸術の創造及び発信並びに区民の文化活動の拠点となる施設を設置することに伴い、会館の名称、利用手続き及び指定管理者制度の導入に関する

条例改正

区営住宅条例の一部改正
都営住宅二カ所の移管に伴い、区営住宅として設置するとともに、管理委託の廃止を行う必要があるため改正する。(設置については18年3月1日施行。管理委託の廃止については18年4月1日施行)

契約

水防情報システム新設・改修工事の請負契約の締結
水害に対する備えと迅速な対応を行えるよう水防情報システムの拡充を図るため工事を施行する。

予算

17年度一般会計補正予算(第五号)
民間住宅等に対するアセスト調査費の助成や小中学校の安全対策などのため、二億十四万五千円を追加。予算総額一千三百七十七億七千四百五十一万四千円。

その他

専決処分の報告及び承認
平成17年9月7日に発生した財物損壊事故について、相手方と合意。損害賠償額九十九万五千九百七十一円の報告を承認する。

議会改革に関する検討調査を開始しました

杉並区議会では、区民の信頼を一層高め、議会活動をより活性化していくため、平成17年10月、各党派議員12名から構成される任意の「議会改革に関する検討調査部会」を設置しました。

調査部会では、情報公開や政策立案能力の向上、効率的な議会運営、議会広報などの様々な課題について検討調査を行っております。

議会日誌

11月	2日	区民生活委員会
	8日	保健福祉委員会
	8日	都市環境委員会
	9日	道路交通対策特別委員会
	14日	議会運営委員会
	21日	第四回定例会本会
	22日	第四回定例会本会
	24日	第四回定例会本会
	25日	議会運営委員会
	25日	第四回定例会本会
	28日	区民生活委員会
	29日	都市環境委員会
	29日	保健福祉委員会
	29日	文教委員会
	30日	総務財政委員会
12月	1日	地方自治・分権調査特別委員会
	2日	道路交通対策特別委員会
	2日	清掃・リサイクル対策特別委員会
	2日	医療問題調査特別委員会
	5日	議会運営委員会
	5日	第四回定例会本会
	9日	文教委員会
	14日	医療問題調査特別委員会
	16日	保健福祉委員会
	20日	都市環境委員会



一般質問

11月21日から25日にかけて、17名の議員が区政一般について質問しました。その一部要旨をお知らせします。

30人学級実現と教室冷房化を早期に実施せよ！



原口昭人 (共産)

問 「障害者自立支援法」で障がい者の福祉サービスが1割負担となり、わずかな工賃を大幅に上回る負担となる。区は負担軽減をはかれ。

答 低所得者へは個別減免などの配慮がされている。工賃の増額などに取り組みたい。

問 中小学校の教室冷房化は23区内で19区が実施または計画化しており、残るは杉並区のほか3区である。子ども達も強く求めている冷房化を早期に実現すべきではないか。

答 緑化や扇風機等による涼空間作りに取り組みたい。

問 文部科学省の調査研究協力者会議も小学校低学年の場合、少人数化が効果的と指摘している。また、45道府県で実施し、先進国ではあたりまえである。低学年からでも直ちに30人学級を実施すべき。

答 30人学級は一定の効果があるが、集団活動に課題がある。中教審答申後の動向をみて、学級編制を行っていく。

問 災害弱者対策への取り組みと災害時における透析医療の確保を

答 災害時における弱者支援対策の重要性と災害弱者となる区民の事前把握についての取り組みを伺う。



藤本なおや (杉自)

問 「障害者自立支援法」で障がい者の福祉サービスが1割負担となり、わずかな工賃を大幅に上回る負担となる。区は負担軽減をはかれ。

問 重要な課題であり、杉並区独自の災害弱者支援体制の構築に努めていく。

答 災害時における透析患者への的確な医療情報の伝達体制は整備されているのか。

答 区内医療機関の被災状況や稼働状況を区医師会や東京都と連携して情報収集し、周知を図るとともに、保健所で把握している患者への個別の対応も必要と考えている。

問 透析患者にとって、災害時の食事管理は極めて重要。低たんぱく米の備蓄などの対策を講じるべきではないか。

答 災害時協定等による確保などは、今後の課題である。

問 高円寺会館への指定管理者制度の導入には、地域に支えられ、地域に受け入れられるよう配慮すべきではないか。

答 充分踏まえて取り組む。

問 「つくる会」教科書採択の撤回を！ 障害者自立支援法は悪法だ！

答 教科書採択過程で「扶養社は適切ではない」とする教員の評価が書き換えられたことをマスコミが報道した。区教育委員会の釈明を求める。

問 「調査事務における留意事項」にそぐわないため、教科書調査委員長の指示により校長に補正の連絡を行ったものであり、変更は校長の職責により行われたものである。

答 教科書調査報告が書き換えられた。教育行政の介入は無効、採択のやり直しを。

問 5人の教育委員は、審議は終了したと認識している。

答 障害者に課せられる利用料1割負担や所得の範囲を世帯単位とした障害者自立支援法は、「障害者」の自立と生きる権利を奪うものではないか。

答 所得に応じた負担上限額が設定されており、本人が被扶養者でない場合には世帯を分離させる特例措置が認められている。

問 国勢調査、地域人材活用、防災市民組織などの課題を質す

答 戸別訪問を基本とした国勢調査は見直すべきときにきている。杉並区が問題を提起し、他の自治体とともに国に新たな提言を行ってはどうか。

問 国勢調査のあり方の抜本的な検討を、国と東京都に強く働きかけていきたい。

答 町会・自治会等で活動してきた人々と地域大学修了者が、共に協力して地域の中で活動できる仕組みが、地域づくりの鍵だと思いがどうか。

問 地域大学修了者を町会等の活動につなげたり、ともに連携して活動するためのコーディネートをするなど、既存組織の活性化につながる取り組みにも努めていく。

問 あらゆる災害に迅速に対応できるという視点で、防災市民組織のあり方を見直すべきではないか。

答 集中豪雨に備えた水防訓練など、火災や地震対策以外にも目を向けた、積極的な取り組みを話しあっていく。

健全な水循環を回復させ、都市型水害の防止を

問 今回の水害で、小規模貯留施設の必要性が言われている。墨田区などでは設置への助成が行われているが、当区での取り組み予定はどうか。

答 貯留施設の必要性や仕組み、補助制度について検討している。次年度の早い時期に利用できるようにしたい。

問 地下水の現況を把握するために始められた「地下水情報地図」作成の進捗状況と今後の予定を伺う。

答 区有施設にある井戸約100カ所を対象に基礎的調査を行っている。地下水状況等の分析は、地盤情報システムとしてデータベース化する中で行いたいと考えている。

問 「健全な水環境の確保・回復に関する条例」を策定してはどうか。

答 「杉並区都市型水害専門委員会」で雨水流出抑制対策の方向性を検討していただいている。条例についても研究していきたい。

問 町会・自治会等で活動してきた人々と地域大学修了者が、共に協力して地域の中で活動できる仕組みが、地域づくりの鍵だと思いがどうか。

答 地域大学修了者を町会等の活動につなげたり、ともに連携して活動するためのコーディネートをするなど、既存組織の活性化につながる取り組みにも努めていく。

問 あらゆる災害に迅速に対応できるという視点で、防災市民組織のあり方を見直すべきではないか。

答 集中豪雨に備えた水防訓練など、火災や地震対策以外にも目を向けた、積極的な取り組みを話しあっていく。

健全な水循環を回復させ、都市型水害の防止を

問 今回の水害で、小規模貯留施設の必要性が言われている。墨田区などでは設置への助成が行われているが、当区での取り組み予定はどうか。

答 貯留施設の必要性や仕組み、補助制度について検討している。次年度の早い時期に利用できるようにしたい。

問 地下水の現況を把握するために始められた「地下水情報地図」作成の進捗状況と今後の予定を伺う。

答 区有施設にある井戸約100カ所を対象に基礎的調査を行っている。地下水状況等の分析は、地盤情報システムとしてデータベース化する中で行いたいと考えている。

問 「健全な水環境の確保・回復に関する条例」を策定してはどうか。

答 「杉並区都市型水害専門委員会」で雨水流出抑制対策の方向性を検討していただいている。条例についても研究していきたい。

町会・自治会等で活動してきた人々と地域大学修了者が、共に協力して地域の中で活動できる仕組みが、地域づくりの鍵だと思いがどうか。

地域大学修了者を町会等の活動につなげたり、ともに連携して活動するためのコーディネートをするなど、既存組織の活性化につながる取り組みにも努めていく。

問 あらゆる災害に迅速に対応できるという視点で、防災市民組織のあり方を見直すべきではないか。

答 集中豪雨に備えた水防訓練など、火災や地震対策以外にも目を向けた、積極的な取り組みを話しあっていく。

健全な水循環を回復させ、都市型水害の防止を

問 今回の水害で、小規模貯留施設の必要性が言われている。墨田区などでは設置への助成が行われているが、当区での取り組み予定はどうか。

答 貯留施設の必要性や仕組み、補助制度について検討している。次年度の早い時期に利用できるようにしたい。

問 地下水の現況を把握するために始められた「地下水情報地図」作成の進捗状況と今後の予定を伺う。

答 区有施設にある井戸約100カ所を対象に基礎的調査を行っている。地下水状況等の分析は、地盤情報システムとしてデータベース化する中で行いたいと考えている。

問 「健全な水環境の確保・回復に関する条例」を策定してはどうか。

答 「杉並区都市型水害専門委員会」で雨水流出抑制対策の方向性を検討していただいている。条例についても研究していきたい。

町会・自治会等で活動してきた人々と地域大学修了者が、共に協力して地域の中で活動できる仕組みが、地域づくりの鍵だと思いがどうか。

地域大学修了者を町会等の活動につなげたり、ともに連携して活動するためのコーディネートをするなど、既存組織の活性化につながる取り組みにも努めていく。

問 あらゆる災害に迅速に対応できるという視点で、防災市民組織のあり方を見直すべきではないか。

答 集中豪雨に備えた水防訓練など、火災や地震対策以外にも目を向けた、積極的な取り組みを話しあっていく。

健全な水循環を回復させ、都市型水害の防止を

問 今回の水害で、小規模貯留施設の必要性が言われている。墨田区などでは設置への助成が行われているが、当区での取り組み予定はどうか。

問 区政執行は、公平・公正でなければならぬ。区政に影響のある者のごく親しい者が経営する企業が、区の仕事を受注することについてどう考えるか。そのような事例が重なることに倫理上の問題はどうか。

答 区の契約は、透明性・公平性・競争性を基本原則として適正に執行している。

問 歩きたばこのパトロールはかなりの効果を上げている。本来は喫煙者のモラルの問題であり、対策にはかなりの費用もかかっている。対策をやめれば元に戻ると予測するが、今後の対策予定はどうか。

答 パトロールを止めても直ちに元の状態に戻るとは考えていないが、本年4月から10月までに1万7千件の指導を行っており、区民の要望もあつたため、体制や指導方法を工夫しながら継続していく。過料徴収については、当面は現行の方法で行っていく。

問 「みどりの条例改正」に向け協働でみどり・土・水を守れ

答 苗圃のあり方を検証し、みどりのストックヤードとして活用できないか。また、雨水貯留タンク設置の助成を検討すべきではないか。

問 苗圃の役割の検証を含め

今後検討していく。また、設置助成は、検討を進めている。

問 こども発達センターは、軽度発達障がい児の利用が増加しており、相談や個別指導の拡充を検討すべき。利用料や食事は、配慮が必要では

答 こどもの発達を総合的に支援できるよう充実させる。負担については、慎重に検討してまいりたい。

問 労働事業提案制度の成果を伺う。NPO法人が事業を行う上で資金の問題は重要であり、委託費などの支払方法の検討を望むがどうか。

答 今年度の2つの事業については、大きな成果があった。委託費は、実状に即した支払方法を、協働で考え配慮していきたい。

問 区長の政治姿勢と公務労働や水害対策の考え方を質す

答 「東京都教育委員会定期異動要綱」により適切に異動業務を進めている。人事情報に関しては、その内容を明らかにすることはできない。

問 私の追及に、区教委は「評価の書き換えではない」と答えながら、その時点で区教委の指示による校長の書き換えが行われていたことの釈明を。

問 校長は、社会科担当教諭が不在と思ひ込み、緊急対応として校長の責任と判断に基づき報告書を作成したと聞いている。

答 北米産牛肉輸入でBS E安全対策求めよ

問 食品の安全・安心に關して、米産牛肉は安全なのか問われている。食品安全委員

会が策定した「地方公共団体における行政改革の推進のための新たな指針」の評価と区としての対応を伺う。

答 区が進めてきた行政改革の方向性と合致するものと考えている。今後は、指針の趣旨も踏まえながら、自治体経営改革を推進していく。

問 都市型水害をなくす力最大の柱は下水にある。都の総合治水計画に任ずるのでは

なく、基礎的自治体ですす策をつくるべきではないか。

答 「杉並区都市型水害専門委員会」の提言を踏まえて治水対策の強化を図っていく。

問 介護保険料値上げはやめよ！ 不正告発した教員の異動やめよ！

答 介護保険料値上げはやめよ！ 不正告発した教員の異動やめよ！

問 税制や医療制度改悪で高齢者の負担増大。介護保険料の値上げをやめるべき。

答 介護予防などの対策を講じ、来年1月に公表予定の介護報酬改定を助案した上で、できる限り保険料の増大を抑えたいと考えている。

問 扶養社歴史教科書批判の調査報告書き換えの不正を告発した教員への異動の強制は許されない。

答 「東京都教育委員会定期異動要綱」により適切に異動業務を進めている。人事情報に関しては、その内容を明らかにすることはできない。

問 私の追及に、区教委は「評価の書き換えではない」と答えながら、その時点で区教委の指示による校長の書き換えが行われていたことの釈明を。

問 校長は、社会科担当教諭が不在と思ひ込み、緊急対応として校長の責任と判断に基づき報告書を作成したと聞いている。

答 北米産牛肉輸入でBS E安全対策求めよ

問 食品の安全・安心に關して、米産牛肉は安全なのか問われている。食品安全委員

会が策定した「地方公共団体における行政改革の推進のための新たな指針」の評価と区としての対応を伺う。

答 区が進めてきた行政改革の方向性と合致するものと考えている。今後は、指針の趣旨も踏まえながら、自治体経営改革を推進していく。

問 都市型水害をなくす力最大の柱は下水にある。都の総合治水計画に任ずるのでは

なく、基礎的自治体ですす策をつくるべきではないか。

答 「杉並区都市型水害専門委員会」の提言を踏まえて治水対策の強化を図っていく。

問 介護保険料値上げはやめよ！ 不正告発した教員の異動やめよ！

答 介護保険料値上げはやめよ！ 不正告発した教員の異動やめよ！

問 税制や医療制度改悪で高齢者の負担増大。介護保険料の値上げをやめるべき。

答 介護予防などの対策を講じ、来年1月に公表予定の介護報酬改定を助案した上で、できる限り保険料の増大を抑えたいと考えている。

問 扶養社歴史教科書批判の調査報告書き換えの不正を告発した教員への異動の強制は許されない。

答 「東京都教育委員会定期異動要綱」により適切に異動業務を進めている。人事情報に関しては、その内容を明らかにすることはできない。

問 私の追及に、区教委は「評価の書き換えではない」と答えながら、その時点で区教委の指示による校長の書き換えが行われていたことの釈明を。

会派名

- 杉自 / 杉並自民議員連盟
- 公明 / 杉並区議会公明党
- 共産 / 日本共産党杉並区議団
- 自無 / 杉並自由無所属区議団
- 民主 / 民主党杉並区議団
- 生ネ / 杉並・生活者ネットワーク区議団
- 革新 / 都政を革新する会
- 社緑 / 社会民主党・緑の人々
- 自民 / 自由民主党杉並区議団
- 無 / 無所属



鈴木信男 (共産)

問 食品の安全・安心に關して、米産牛肉は安全なのか問われている。食品安全委員



問 児童虐待の防止には、相談しやすい体制が重要。来年度に向けた取り組みを伺う。
答 子ども家庭支援センターを旧児童福祉センターに移転し、専用相談室を設けるなど、虐待対策の強化に努める。
問 認証保育所と認可保育園では、保育料に差があり、認証では高くなっている。この証では高くなっている。この格差を正し、新年度からでも実施すべきではないか。
答 待機児解消という観点から早期に解決すべき課題であり、検討を進めている。
問 高齢者への経済的虐待を防止するには、成年後見制度の普及が欠かせないのでは。
答 地域の中できめ細かく、わかりやすい周知に努めている。

子育て支援と虐待防止対策などを問う



横山えみ (公明)

第4回定例会で審議した議案の結果
 平成17年12月5日議決 (は11月25日) =賛成 x =反対

番号	議案名	杉自	公明	共産	自無	民主	生ネ	革新	社緑	自民	無	結果
議案第56号	杉並区長期継続契約を締結することができる契約を定める条例							x	x			可決
議案第57号	杉並区行政財産使用料条例の一部を改正する条例											可決
議案第58号	杉並区立杉並芸術会館条例							x	x		x	可決
議案第59号	杉並区立地域区民センター及び区民集会所条例の一部を改正する条例			x				x				可決
議案第60号	杉並区立産業商工会館条例の一部を改正する条例							x	x			可決
議案第61号	杉並区立障害者福祉会館及び視覚障害者会館条例の一部を改正する条例							x	x			可決
議案第62号	杉並区立高齢者在宅サービスセンター条例を廃止する条例			x				x	x			可決
議案第63号	杉並区立歯科保健医療センター条例の一部を改正する条例											可決
議案第64号	杉並区特別工業地区建築条例等の一部を改正する条例											可決
議案第65号	杉並区立区民住宅条例及び杉並区高齢者住宅条例の一部を改正する条例							x				可決
議案第66号	杉並区営住宅条例の一部を改正する条例							x				可決
議案第67号	杉並区立自転車駐車場条例の一部を改正する条例											可決
議案第68号	杉並区廃棄物の処理及び再利用に関する条例の一部を改正する条例							x				可決
議案第69号	杉並区浄化槽清掃業の許可及び浄化槽保守点検業者の登録に関する条例を廃止する条例											可決
議案第70号	杉並区立社会教育センター及び社会教育会館条例の一部を改正する条例											可決
議案第71号	水防情報システム新設・改修工事の請負契約の締結について											可決
議案第72号	負担付き譲与の受領について											可決
議案第73号	負担付き譲与の受領について											可決
議案第74号	平成17年度杉並区一般会計補正予算(第5号)							x				可決
議案第75号	杉並区職員の給与に関する条例の一部を改正する条例							x				可決
議案第76号	杉並区長等の給与等に関する条例等の一部を改正する条例			x				x	x		x	可決
議案第77号	杉並区職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例							x				可決
議案第78号	杉並区幼稚園教育職員の給与に関する条例の一部を改正する条例							x				可決
報告第14号	地方自治法第179条第1項の規定に基づき専決処分した損害賠償額の決定の報告及び承認について()											承認

会派名・構成人数
 杉自 / 杉自民議員連盟 (12人) 公明 / 杉並区議会公明党 (8人) 共産 / 日本共産党杉並区議団 (6人) 自無 / 杉並自由無所属区議団 (5人) 民主 / 民主党杉並区議団 (4人) 生ネ / 杉並・生活者ネットワーク区議団 (2人) 革新 / 都政を革新する会 (2人) 社緑 / 社会民主党・緑の人々 (2人) 自民 / 自由民主党杉並区議団 (2人) 無 / 無所属 (1人)

問 保健福祉計画案には、新たな就労形態として「特別子会社」を区内に誘致する必要があるが、制度のメリットは何か。誘致については、どのように取り組んでいくのか。
答 企業にとっては障害者雇用の達成などの社会的責任を果たすことができ、雇用される障害者にとっては配慮された職場環境での就労と一定の収入が得られるといった利点がある。場の確保をはじめとした効果的な誘導支援策について十分に検討し、具体化を図ってまいりたい。
問 改正DV防止法の体制強化は、どう図られたのか。
答 相談員を増員した。
問 特別子会社誘致で障害者就労の促進を！
答 夢の科学館構想を！



山田敏光 (公明)

問 科学館基本構想の策定にあたっては、第2のエンジンやインシユタインが生まれるような、新しい科学館となるようにしていただきたい。
答 必要性は感じている。国の示すガイドラインを踏まえ、内容を検討していく。
問 杉並区も社会福祉法人減免を実施すべきではないか。
答 区が運営する通所施設についても必要と考えている。
問 ショートステイ施設は、高齢者介護に比べ施設が少なく、設立手続きなど煩雑な事務作業を緩和し、増設の必要があると考えられているが、都から事業者指定を受ける必要がある。規制緩和については、国から示されていない。
問 区内の教育施設、特に幼稚園



小野清人 (社緑)

問 保育園は公立、私立を問わず、区が責任を持って調査をすべき。子どもたちの命に公立、私立は関係ない。
答 区として調査を行う考えはないが、相談には応じる。
問 移動介護は必要な制度だと考えるが、障害者自立支援法の制度で拡充を図れるのか。
答 必要性は感じている。国の示すガイドラインを踏まえ、内容を検討していく。
問 杉並区も社会福祉法人減免を実施すべきではないか。
答 区が運営する通所施設についても必要と考えている。
問 ショートステイ施設は、高齢者介護に比べ施設が少なく、設立手続きなど煩雑な事務作業を緩和し、増設の必要があると考えられているが、都から事業者指定を受ける必要がある。規制緩和については、国から示されていない。

問 人を育て、街を育てる、新しい時代の文化の振興を
問 文化振興基金の設置に向けた検討状況を伺う。基金と成を行う仕組みも検討してはどうか。
答 実態に即した効果的な振興策をつくるのが重要と考えている。助成制度も含めた検討を行い、早急に新たな振興策をまとめたい。
問 文化交流協会のあり方を、どのような方向性で見直していくのか。
答 専門性を高め、効果的に事業を進めていくことなどを目的として、来年度から文化協会と交流協会に分離する方向で検討を進めている。



渡辺富士雄 (公明)

問 建物や仕組みを頑丈にしても、人の心や意識が低ければ、災害は防げない。総合防災対策に対する考えはどうか。
答 自助・共助・公助の三位一体での取り組みが重要。実践的な取り組みを通じて、これまでの対応を見直していく必要がある。
問 最近ジムや浴場等(更衣室や脱衣場など全裸姿になる場所)に防犯カメラが設置されるケースが見られる。
答 技術の進歩とともに、今日では安価に高性能なカメラを設置できるようになった。しかし、全裸姿が録画されると事前に分かっていたら、当然



堀部やすし (無)

全裸姿の撮影は届出対象とすべき

ホームページのご案内
 杉並区議会のホームページには、会議録・審議した議案・会議日程などを掲載しています。また、各年の活動実績をまとめた区議会年報や区議会だよりのバックナンバーなどもご覧いただけます。
<http://www.gikai.city.suginami.tokyo.jp/>

声・点字の区議会だより
 本紙を録音した「声の区議会だより」、または点字版「区議会だより」をご希望の方に郵送でお届けしています。区内在住の視覚障害1、2級の方と特に希望される方が対象です。お知り合いの方へお知らせください。(お申し込みは区議会事務局へ)

会議録の発行について
 本紙掲載の質問と答弁は、一部を抜粋したものです。詳しい内容をお知りになりたい方は、お近くの区立図書館、区政資料室、地域区民センター、区民集会所で会議録をご覧ください(1月下旬発行予定)。会議録は、区議会ホームページでもご覧いただけます。

お知らせ
住所変更
 小川宗次郎議員(民主) 12月3日(火) 3
 松ノ木 3 12
 太田哲二議員(自無) 12月5日(水) 5
 西荻南 4 12
中学生区議会
 12月13日(火)、「みんなで作る私たちのまち杉並」をテーマに開催されました。

請願
 12月5日の本会議で、次のとおり決定しました。
障害者区議会
 12月9日(金)、「地域で自立して生活するために」をテーマに開催されました。
京王井の頭線浜田山駅南口の早期開設に関する請願
 (17請願第3号)

年頭のごあいさつ

年頭にあたり、議会各会派の
あいさつをお届けします。



区民のための区議会へ 更に改革を進めます

杉並自民議員連盟

区民の皆さま、明けましておめでとうございます。今年も我が会派12名の議員は、日々新たな気持ちで前向きに諸課題に取り組んでいくことを、お約束いたします。

今日は、21世紀型国家作りを「国家依存型社会」から「地方自立型社会」へ、改革を加速させています。

杉並区では、いち早く「自立した地方政府」を目指して、施策の実現に取り組んでまいりました。職員1000人の削減目標は半分以上達成し、同時に、区の仕事の6割を民間に委託する指定管理者制度等も着実に進展しています。

そこで、我が会派は、防犯対策や昨年の水害を教訓にして

た防災対策は勿論、教育立区を標榜した志の高い先生を育成する「師範館」の創設、生涯現役の地域社会づくり等の諸課題に対し、積極的に提言していきます。

特に昨年10月、区議会自らの改革を目指し、全議員の中から12名を選出して「議会改革に関する検討調査部会」を設置しました。議員全員へのアンケートでは、42分野・359項目の回答があり、改革に向けて精力的に取り組んでいきます。どうか今年も、よろしくお願いたします。

本物の是非が分からない時は 立ち止まる勇気を

杉並自由無所属区議団

新年あけましておめでとうございます。お正月ですから「今年は良い年になる」と言いたいのですが、正直な感覚からすれば、そう言えないのが残念です。

世の中は、相変わらず詐欺・ペテン・イカサマが大繁盛しています。昔は悪人は悪人らしい風貌で庶民を脅したものでしたが、今は悪人は悪人らしい風貌で庶民を脅したもので、分らない場合は立ち止まるべきです。

自治体の責務は「住民福祉」の増進です。教育・環境・中小企業対策など区民の暮らしを応援する区政実現に全力を挙げる決意です。

本年も日本共産党への変わりぬくご支援をどうぞよろしくお願いたします。

素晴らしい朝焼けの東天を仰ぎつつ迎えた2006年新春

杉並区議会公明党

皆様には、お変わりなく越年されたことと拝察申し上げます。区民の皆様と共に清新の決意と行動で、全てにわたりの力を尽くしてまいります。昨年は、本区もかつて経験した事のない、都市型水害に見舞われ、自然災害の恐ろしさを身を持って体験致しました。「今年こそ」は、全

ての人々が「安心・安全」に暮らせる、「安穏で平和」な最高の年になりますことを願います。わが党区議団8名は現場第一主義で誠心誠意取り組みてまいります。

さて、今後の社会を展望するとき、社会保障制度改革は避けて通れず、介護、医療、年金等の将来像の明示や安定

この一年区民の皆様と手を携えながら、人生や社会を豊かに創造し、活力あるまちづくりを可能にしてまいります。本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

「つくる会」教科書許さず 憲法・くらしを守る区政を

日本共産党杉並区議団

あけましておめでとうございます。区民の皆様には健康に新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中のあたたかいご支援・ご協力に心よりお礼申し上げます。

国内では、憲法改悪、定率減税廃止や消費税率引き上げなど平和とくらしへの攻撃が強められています。

わが党は憲法九条とくらし

共に育てる地域社会実現を 目指す地域分権杉並区政を

民主党杉並区議団

あけましておめでとうございます。区民の皆様におかれましては、ますますご健勝の事とお慶び申し上げます。

日頃より、杉並区議会と民主党杉並区議団にご支援ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

私達民主党杉並区議団は、責任ある政党の会派として、

一人ひとりの考え方を尊重し、民主党の政策を杉並区政に活かせるよう議会活動をしてまいります。区民全員が住んで良かった、住んでみたい、これから住み続けたいふるさと杉並区を実現するため、日々積極的に活動しております。

山田区長の区政運営を支えながら、言うべきことはしっかりと

かりと言っております。

杉並区は、引き続き改革を行っていかなくてはなりません。地域の課題に絞り、本年の決意を述べます。

一、地域で育てる子供連のための施策

一、地域で支えあう社会弱者施策

一、地域で守る地域の安全施策

以上の施策を具体的に皆様と考える、区政に反映させていきます。

本年もよろしくお願申し上げます。

会派別議員名簿

(五十音順)

杉並自民議員連盟

井口 かづ子 伊田としゆき
今井 譲 梅田ひさえ
小泉 やすお 河野 庄次郎
斉藤 常男 曾山 繁
富本 卓 はなし 俊郎
藤本 なおや 本橋 文将

杉並区議会公明党

青木 さちえ 島田 敏光
西村 文孝 藤原 一男
宮原 良人 横山 えみ
渡辺 重明 渡辺 富士雄

日本共産党杉並区議団

小倉 順子 くすやま美紀
鈴木 信男 原口 昭人
原田 あきら 山崎 一彦

杉並自由無所属区議団

岩田 いくま 太田 哲二
佐々木 浩 松浦 芳子
山田 なおこ

民主党杉並区議団

小川 宗次郎 押村 てい子
田代 さとし 田中 朝子

杉並・生活者ネットワーク区議団

河津 利恵子 小松 久子

都政を革新する会

けしば 誠一 新城 せつこ

社会民主党・緑の人々

奥山 たえこ 小野 清人

自由民主党杉並区議団

関 昌央 吉田 武

無所属

堀部 やすし